

県民の皆さんとめざす姿

自動車排出ガスや生活排水など身近な暮らしの環境問題に対する意識が高まり、県民の皆さんやさまざまな主体が協力して大気や水環境の保全に積極的に取り組んでいます。

また、大気や河川、海域の環境基準が達成され、県民の皆さんが良好な大気・水環境のもとで健康的な生活を営んでいます。

現状と課題

- 県内の大気環境は、おおむね良好な状態に保たれていますが、二酸化窒素に関しては、NO_x・PM法対策地域の一部で、自動車排出ガスによる影響が大きく、大気環境基準を達成していません。
- 健康に影響を与える光化学スモッグは、その濃度上昇に備えるための予報が、毎年、発令されています。
- 河川の水質は、近年環境基準（BOD）の達成率が90%以上で推移しており改善傾向にあります。一方、海域の水質については、伊勢湾において赤潮や貧酸素水塊が発生するなど、環境基準（COD）の達成率は50%前後で推移しており、水質汚濁の主な要因となっている工場・事業場排水や生活排水について、さらなる汚濁負荷の削減による水質改善が求められています。
- 海岸域では、河川を經由して流入したごみが多量に漂着しており、砂浜等の景観の悪化が課題となっているほか、漁業や生態系への影響が懸念されています。こうした課題の解決に向けて、県民の皆さん、民間団体、企業等による、森・川・海のつながりを意識した流域圏でのネットワークづくりや、環境保全活動の拡大・活性化が求められています。

変革の視点

良好な大気環境、美しい川や海は、地域で守るという意識の醸成を図ることにより、県民の皆さんや民間団体等による大気保全や水質改善などの主体的な環境活動とその連携を促し、大気や水質の環境保全につなげていきます。また、生活排水処理施設については、事業ごとの実施という観点を超えて、一体的に、地域の実情をふまえた適切な手法で整備を進めるとともに、単独処理浄化槽からの転換を促進します。

平成27年度末での到達目標

県民や事業者の皆さんによる、自動車排出ガスによる局地的な大気汚染の解消への取組が進み、大気環境測定地点における大気環境基準が達成されるとともに、生活排水処理アクションプログラムの目標の達成等により、河川や海域における水質が維持または改善しています。

また、地域において森・川・海のつながりを意識しながら、さまざまな主体による連携した取組が活発に行われるようになっていきます。

県民指標

目標項目	現状値	目標値	目標項目の説明
大気環境および水環境に係る環境基準の達成率	93.9% (22年度)	97.0%	大気環境測定地点および河川・海域水域における環境基準の達成割合

平成24年度取組方向

- NO_x・PM総量削減計画に基づき、事業者等の協力を得て、負荷が少ない自動車へ転換を図るとともに、流入車対策等を進めます。
- 光化学スモッグによる被害の未然防止のため、予報等の情報伝達を速やかに行うと共に、工場等の排出ガス対策を実施します。
- 伊勢湾の水質改善に向け、「化学的酸素要求量、窒素含有量及び、りん含有量に係る総量削減計画」（第7次）に基づき、工場・事業場等からの汚濁負荷を一層削減します。
- 地域の実情に応じた生活排水処理施設の整備を市町と協働し効果的かつ効率的に進めます。また、浄化槽の設置に係る県費補助を見直し、単独から合併処理浄化槽への転換及び市町村設置型浄化槽の整備を促進します。
- 伊勢湾の海底に堆積した底泥の調査結果をふまえ、大学等研究機関と連携することにより、貧酸素水塊の対策に向けた調査・研究を推進します。
- 「三重県海岸漂着物対策推進計画」に基づき、海岸管理者と民間団体等の協力体制を構築し、美しい海岸を保全していくとともに、愛知県や岐阜県などと連携して伊勢湾流域圏での発生抑制対策を進めます。

主な事業

① 大気テレメータ維持管理事業（環境生活部）

【基本事業名：15401 大気・水環境への負荷の削減】

（第4款 衛生費 第6項 環境保全費 3環境指導費）

予算額：(23) 90,646千円 → (24) 113,299千円

事業概要：環境総合監視システムにより大気環境基準の達成状況を把握するとともに、排出ガスを多量に発生する固定発生源についてもテレメータシステムにより常時監視を行います。（県管理大気常時監視測定局19局、発生源測定局14事業所）

② （一部新）河川等公共用水域水質監視事業（環境生活部）

【基本事業名：15401 大気・水環境への負荷の削減】

（第4款 衛生費 第6項 環境保全費 3環境指導費）

予算額：(23) 41,057千円 → (24) 36,572千円

事業概要：公共用水域及び地下水の常時監視や、伊勢湾に流入する汚濁負荷量（COD、窒素、りん）の削減を図るための総量規制を実施します。また、海域等の公共用水域における放射性物質濃度を把握するために調査を実施します。

（常時監視 河川:49河川76地点、海域:4海域24地点
放射性物質調査20海水浴場）

③ 自動車NO_x等対策推進事業（環境生活部）

【基本事業名：15402 自動車環境対策の推進】

（第4款 衛生費 第6項 環境保全費 3環境指導費）

予算額：(23) 66,008千円 → (24) 23,882千円

事業概要：自動車排出ガスによる局地的な大気汚染を解消するため自動車NO_x等総量削減計画により、流入車対策を進めるとともに、環境への負荷が少ない自動車の導入支援等を行います。

④ 浄化槽設置促進事業（環境生活部）

【基本事業名：15403 生活排水対策の推進】

（第4款 衛生費 第6項 環境保全費 3環境指導費）

予算額：(23) 433,860千円 → (24) 378,403千円

事業概要：補助制度を一部見直し、新たに単独浄化槽・汲み取りから合併処理浄化槽への転換を促進する補助を創設するとともに、浄化槽設置者に補助を行う市町及び、浄化槽を設置し維持管理を行う市町に対し助成を行い、生活排水処理施設の整備率の向上、水環境の保全を図ります。

（個人設置型21市町、市町村設置型6市町）

⑤ 流域下水道（建設）事業（県土整備部）

【基本事業名：15403 生活排水対策の推進】

（流域下水道事業特別会計 第1款 流域下水道事業費

第1項 流域下水道事業費 2流域下水道建設費）

予算額：(23) 6,717,260千円 → (24) 6,596,462千円

事業概要：公共用水域の水質保全と生活環境の改善を図るため、流域下水道の整備を推進します。

⑥ 伊勢湾行動計画推進事業（環境生活部）

【基本事業名：15404 伊勢湾の再生】

（第4款 衛生費 第6項 環境保全費 3環境指導費）

予算額：(23) 70,988千円 → (24) 4,633千円

事業概要：海岸漂着物による被害の実状を踏まえ、三県一市が連携して、漂着物の回収・発生抑制の取組である「伊勢湾森・川・海のクリーンアップ大作戦」を拡大・活性化するほか、漂着物の実態及び削減効果のモニタリング調査を行います。また、伊勢湾の水質改善に向け、大学等研究機関との連携により、底質改善等の検討を行います。（森・川・海クリーンアップ：5～8月頃に各地で実施）

⑦ 環境試験研究管理事業（環境生活部）

【基本事業名：15405 環境保全のための調査研究の推進】

（第4款 衛生費 第6項 環境保全費 3環境指導費）

予算額：(23) 41,020千円 → (24) 40,919千円

事業概要：保健環境研究所の一般的な管理運営（環境関係）を行うとともに、分析機器の精度維持を図るため点検及び修理を行います。